

「CMED 会のあり方」検討部会 平成 21 年度活動計画

(1) これまでの実施経過

地区研修会 (平成20年度) の意見取り纏め

- ・ 三者協議の積極的な活用方法
- ・ 意見交換会の具体的な効果等の検証
- ・ 広報活動の実施
- ・ 災害支援等の社会貢献の可能性検討
- ・ 設計、積算等の照査の支援可能性検討
- ・ 新規 CMED 資格取得者の活躍範囲の拡大
- ・ 会員間の積極的な情報交換

意見交換会の意見取り纏め

- ・ 関係機関との意見交換会における意見の整理----- (平成20年12月～平成21年 3月)

- ・ 長い歴史に耐えるダムのために、CMED 会の技術力アップと外部への提言などを期待する
- ・ 社会からダムの評価を適正に受けるには、行政や CMED 会が連携した一般市民への PR が効果的
- ・ 土木分野の優秀な学生の確保が課題であり、CMED の熱き語り部による社会との繋がりを期待する
- ・ 災害時の対応等に、ダム技術による社会貢献が大いに期待される

会員アンケート-----全 CMED 会員を対象にアンケートを実施

会員アンケートの実施と分析,概略検討----- (平成20年10月～平成21年4月)

- ・ 現場支援等の可能性検討
- ・ 人材 (OB を含む) 活用案
- ・ 今後実施すべき調査研究活動の方向性

具体案の検討----- (平成21年 4月～)

- ・ 長期的な視野に立った組織 (案)
- ・ CMED 会の具体的な活動計画 (案)
- ・ その他: CMED 会の活性化方法など

(2) 今後の活動方針-----第22回総会では、今後の活動計画として以下の内容を報告

現場支援	: 支援方法、三者協議の方策 等	} * 左記を実施する上での基本方針 ダム現場に役に立つ CMED 会 CMED 会の活性化
人材育成, 活用	: 若手技術者への技術継承 OB 会員の活用方法	
調査研究	: 調査研究活動の今後の方向性	
広報活動の方法	: 効果的な広報活動の方策	
組織のあり方	: 独立性を含めた組織のあり方	

(3) 具体的検討内容

現場支援の方策 ・ -----ダム現場に有益な支援方法

- ・ 現場支援 (何が求められているか? 支援は可能か? 支援方法は?)
 - ・ 三者協議の効率的な運用方策とは?
- 地区研修会で三者協議に関する意見が多く、H20 年度は意見交換会の場でテーマに取り上げ制度化を視野に入れた取り組みの実施 今年度は実現可能な仕組みの検討
平成 20 年度実施のアンケート結果では、CMED 会の活動に対し技術情報や現場情報の提供を望む声が多いため、以下の検討を行う。
1. 現場共通の要望を把握
(アンケート結果、地区研修会の意見から共通する要望を拾い上げる)
 2. 支援方法の検討
(情報の提供方法、CMED 会としての支援可能な方策を検討し具体化する)
- 【検討上の課題】
- ・ CMED 会としての支援がどこまで可能か (担当する部署の確保)
 - ・ 従来の情報提供等の支援に対し、さらにどのような付加価値を増すことができるか
 - ・ 個別の現場の支援を行う場合に、どのような方法があり得るか

人材育成・人材活用の方策 ・-----技術の継承やOB 会員の活用方法

- ・若手技術者の育成方法はどのように行うべきか？
- ・OB の活用方法（現実的に可能な方法としてどのような方法があるか？）

.....

ダム事業が減少する状況下で、技術者育成や技術伝承を図ることが重要であり、OB の協力を得ることも視野に検討を加える。（ 組織の検討 ）

1. 人材育成 若手技術者への技術の伝承（例）

- a) 若手中心の勉強会、見学会の開催
多忙な業務の中で、本人が出席しやすいような仕組みを検討
- b) ホームページの活用
ダム関連技術を集積し、会員以外の技術者にも開放
技術ノウハウ、失敗、成功・・・様々なデータを集積し、自由な活用の場を設ける
- c) 教本の出版・・・『多目的ダムの建設(施工者バージョン)』の出版
解説本、攻略本的意味合い(実施工に即した解説を中心にした教本であれば利用し易い)

2. OB 会員の活用方法

- a) 各生活基盤近隣で開催されるイベント(PR 含む)等の補助
交通費等はCMED 会が負担し、活動しやすい環境作りを行う
- b) 若手技術者の教育活動への協力依頼
長年培ってきた技術など、OB の生の声が聞ける機会を設ける
- c) 新組織（仮定）の中での業務担当
ダムに関するコンサルティング、設計業務 ダムに関するCMR 業務
安全コンサルタント業務 ダムに関する現場監督員業務(発注者)
ダムに関する施工管理業務(施工者)

【検討上の課題】

- ・多忙な現場で働く若手技術者が、積極的に講習会等に参加できる仕組み作り
- ・若手技術者の教育にはマンパワーが必要
- ・OB 活用の場合には、経費 等の問題を解決する必要あり

調査研究 ・-----技術や契約制度等に関する調査研究活動の方向性

- ・今後求められる調査研究活動は？（新技術，リニューアル技術，トラブル事例，リスク分担 他）
- ・合理的な調査研究活動のやりかたは？

.....

これまでに実施したアンケート調査結果をみると、新技術やダムのリニューアル技術についての調査研究活動を望む意見が多いことを踏まえ、以下の事項を検討する。

- 1. 現場に役にたつ新技術とは何か（地区研修ではアンケート結果を紹介し、議論する）
- 2. ダムのリニューアル技術に関して、施工者として研究すべき技術を検討する

【検討上の課題】

- ・技術競争がますます激化する現状で、会社間の垣根を越えた新技術に関する調査、研究、提案開発等を行うことが可能か。
- ・活動内容について、施工技術研究会（ダム協会）等と調整や役割分担を明確にする必要がある。（例）
ダムの入札制度に係わる問題の検討
CMED 会の入札検討部会 ～ 施工技術研究会第一部会，大ダム会議
プレキャストについて
ダム現場の安全検討部会 ～ 施工技術研究会 調査部会第 1 班

広報活動の方策 ・ -----効果的な広報活動の方法

- ・ 誰にどのような情報を提供するの か ・ マスメディアや教育機関へ情報発信する場合の方法は
- ・ 情報発信の手段や方法をどのようにするか

アンケート調査では広報活動を望む声が多いが、対応には短期的に対応可能なものと長期的に臨むものを整理し、対象者と発信する内容を検討していく必要がある。

1. ホームページからの発信----- 一般者(ダムマニア)のアクセス数を増やす
 《一般的なコンテンツの充実》: ダム関連グッズ 一研支援 現場見学会
 《メンテナンスの充実》 : 外注 専従
2. マスメディアへの発信----- 友好的な記事の掲載を増やす
 : 投稿 広告 記事の投込(業界紙)
3. 教育機関への発信----- 教育機関との接点を増やす
 : 現場見学 出前講座 ダムどこ 教育資料
4. ダム現場からの発信----- 地域住民との接点を増やす
 : 現場見学 地域行事への参加 ボランティア活動

【検討上の課題】

- ・ 長期的な対応が必要であり、常設の広報部会等を組織する必要がある（参：土工協など）
- ・ マンパワーや費用が必要であり、OBの協力を検討する必要もある

組織のあり方 ・ -----独立性を含めたCMED会のあり方

- ・ CMED会費の推移予測（予算予測） ・ 地方会員の活性化（組織）は？
- ・ 法人化のメリット等は？

1. 今後 5 年後、10 年後を目途とした CMED 会員の年齢構成と CMED 会予算のシュミレーションを行い、運営方法等を検討する。
2. CMED 会員、OB 団体及び CMED 会自体を法人化した場合のメリット・デメリット等を整理する。
3. NPO 法人の形式、法人化の要件、手続き等について情報収集を行う。

【検討上の課題】

- ・ CMED 会員、OB 団体の結成が可能であるか？（活動範囲、組織をどうするか。）
- ・ OB の活動内容は？（アンケート結果 貢献する場合は技術的事項での意見が多い）

（ 4 ）実施スケジュール

5 ～ 6 月度 常任幹事会 意見



- ・ 活動計画修正
- ・ 検討実施

地区研修会（ 7 月～ 8 月）意見



- ・ 活動計画修正
- ・ 検討実施

10 月度 常任幹事会 中間報告



- ・ 検討内容の修正
- ・ 報告書作成

平成 22 年 2 月度 常任幹事会 最終報告案



- ・ 報告書作成

平成 22 年 3 月度 常任幹事会 最終報告

ダム工事総括管理技術者会

CMED会のあり方 検討部会報告 (中間報告)

ダム工事総括管理技術者会
第22回総会

平成21年4月10日(金)

ダム工事総括管理技術者会

1. はじめに

■ 検討趣旨

- CMED会創設：昭和63年度から20年が経過
 - ・ **社会情勢の変化**
ダム事業数の減少、入札制度の変革
コストダウンの要請、環境保全意識の高揚
 - ・ **ダムをめぐる技術革新**
台形CSGダム、CFRD、ITの活用 他

◆ ダム建設を取巻く環境が大きく変化

➢ ダム現場にとって**存在意義のある組織**として存続するため、**今後の活動の方向性**を検討

ダム工事総括管理技術者会

2. CMED会活動の現状

2-1. CMED会の構成

- 会員数 **623名** (H20年4月1日現)
- 年齢構成
 - 70代…… 15名(2%)
 - 60代…… 143名(23%) 約1/4
 - 50代…… 294名(47%)
 - 40代…… 157名(25%)
 - 30代…… 14名(2%)
- 所属会社数 89社

ダム工事総括管理技術者会

2. CMED会活動の現状

2-2. CMED会の活動内容

- CMED会員への**情報提供**
- **地区研修会**の開催
- **調査・研究活動**
- 関係機関・団体との**意見交換会**の開催
- 関係機関の活動への**参画**
- **広報活動**

ダム工事総括管理技術者会

■ CMED会員への情報提供

- 会員名簿の作成・配布
- 「CMED会だより」の発行(年2回発行)
- ホームページ上での各種情報提供
- CMED会総会の開催(毎年4月)

■ 調査・研究活動

- 2008年度
 - ① CMED会のあり方 ② ダム工事の安全管理
 - ③ ダム工事の入札制度
- 2007年度
 - ① 20周年記念事業“100年後のダム”
 - ② ダム工事の安全管理 ③ ダム工事の入札制度

ダム工事総括管理技術者会

■ 地区研修会の開催

- 全国の各地域(数箇所)にて研修会を開催
 - ・ 調査・研究活動の報告と意見交換
 - ・ 現場見学および情報交換
 - ・ 講師を招いての講演会の開催
- 2008年度実績(3地区で開催……計97名参加)
 - ・ **夕張シューパロダム** (37名)
 - ・ **尾原ダム** (26名)
 - ・ **嘉瀬川ダム** (34名)

ダム工事総括管理技術者会

■ 関係機関との意見交換会の開催

➢ 下記の関係機関・団体と意見交換会を開催
(以下 平成20年度 実績) 赤字: CMED会側のテーマ

- (独) 水資源機構
 - ・ 「南庫ダムへのCFRD適用について」
 - ・ 「ダム建設における**CMEDの役割**」
- (財) ダム技術センター
 - ・ 「大規模地震に対するダム耐震性能照査」
 - ・ 「**ダムの入札制度の検討**」, 「**ダム現場の安全**」
- (社) 建設コンサルタンツ協会
 - ・ 「**ダムのリニューアルについて**」
 - ・ 「**三者協議の効果と課題**」

ダム工事総括管理技術者会

■ 地区研修会, 意見交換会での意見

➢ **地区研修会**での意見

- ・ 三者協議の積極的な活用方法
- ・ 設計、積算等の**照査の支援**可能性検討
- ・ **意見交換会**の具体的な**効果**等の検証
- ・ 新規CMED資格取得者の**活躍範囲**の拡大
- ・ **広報活動**の実施
- ・ 会員間の積極的な**情報交換**
- ・ 災害支援等の**社会貢献**の可能性検討

➢ **意見交換会**での意見

- ・ **技術力アップ**と外部への提言で歴史に耐えるダムを
- ・ CMED会と連携した一般市民への**PR**
- ・ 土木分野の**優秀な学生**の確保
- ・ ダム技術による災害時等の対応への**社会貢献**

ダム工事関係管理技術者会

3. CMED会員アンケートの紹介

▶CMED会の今後のあり方を検討するため、アンケート調査を実施

▶ 対象 : CMED会 全会員 (新会員除く)

▶ 調査項目 :

- CMED会活動への関わり状況
- 今後の活動のあり方
- 退職後のCMED会活動 他

ダム工事関係管理技術者会

■ アンケート 回答者の状況 (回答数425名/623名)

回答者の年齢構成 (425名回答)

現在の勤務状態 (424名)

ダム工事関係管理技術者会

■ CMED会の情報提供について

ホームページアクセス状況 (422名回答)

IDを取得していない, 44人, 10%

めったにアクセスしない, 117人, 28%

よくアクセスする, 261人, 62%

CMED会だより 購読状況 (423名回答)

読まない, 14人, 3%

たまに参照する, 149人, 35%

毎回読心, 260人, 62%

ダム工事関係管理技術者会

■ ホームページへの要望

1. アクセス	2. 現場情報	3. 一般技術情報	4. コーナー設置	5. その他情報	6. 要望	
1. 出来ない	1. 退任資料	1. 新技術, 有益技術	1. 分かり易い情報	1. 会員情報	1. 他と差別化情報	
2. 他情報源有	2. 苦勞点	2. 工事誌	2. 相談コーナー	2. 入札情報	2. 更新案内	
3. 業務関係無	3. パワ, 写真	3. 技術刊行物	3. 質問コーナー	3. その他	3. 一歩を完全	
4. 心ばかりの望	4. 現場維持	4. 協議事項			4. 接続環境改善	
5. 単純な理由	5. 関連行事	5. 関連行事			5. HPのPR	
	6. たより	6. たより				
33	13	11	5	9	12	83

ダム工事関係管理技術者会

■ CMED会 総会について

総会の重要性 (425名回答)

どちらも言えない, 81人, 19%

不要, 9人, 2%

重要, 336人, 79%

総会出席状況 (425名)

出席経験なし, 47人, 11%

毎回出席, 136人, 32%

出席経験あり, 242人, 57%

ダム工事関係管理技術者会

■ 総会の欠席理由

(回答44名のキーワード数55を分析)

『総会に出席したことがない』と回答した44名の回答の内、55の欠席理由を分析

ダム工事関係管理技術者会

■ CMED会 地区研修会について

地区研修会の重要性について (425名回答)

どちらも言えない, 132人, 31%

不要, 25人, 6%

重要, 268人, 63%

地区研修会 参加状況 (425名)

参加経験なし, 80人, 19%

毎回参加, 35人, 8%

参加経験あり, 310人, 73%

ダム工事関係管理技術者会

■ 調査研究活動は役に立ったか?

調査研究活動 (ダムの安全管理) (421名)

内容を知らない, 77人, 18%

役に立った, 97人, 23%

調査研究活動「入札制度」 (421名)

役に立った, 57人, 14%

内容は知っている, 247人, 59%

内容を知らない, 90人, 21%

内容は知っている, 274人, 65%

